日装連新聞

12月号 2022/令和4年 No.547

発行所
日本室内装飾事業協同組合連合会
Japan Interior Decoration Association (JIDA)
〒105-0013
東京都港区浜松町2-6-2 浜松町262ビル2階
Tel(03)3431-2775　Fax(03)3431-4667
月刊●毎月15日発行●講読料 年間2,400円 1部200円

第1回日装連新聞タウンミーティング 中部ブロックで開催

内装業界の問題点と突破口とは

日装連情報・流通委員会（鈴木英治担当副理事長・関好文委員長）は12月12日、愛知組合会議室にて、第1回日装連新聞タウンミーティングを開催した。

日装連タウンミーティングは、内装業界の課題や問題点、あるいは組合運営の在り方、日装連への要望などを全国の組合員とディスカッションすることで浮き彫りにし、日装連新聞の紙面づくりに活かしていくことを目的に企画したもの。年4回、ブロック単位で開催することを計画している。

タウンミーティングの様子

第1回目は中部ブロックの方々にお集まりいただいた。

■参加者

【中部ブロック】

高柳隆夫（ブロック長・三河組合理事長）、白井利幸（三河組合理事）、虫賀友則（岐阜組合理事長）、江口宏康（岐阜組合副理事長）、中村武久（三重組合理事長）、恩田幹夫（三重組合副理事長）、山本貢（静岡組合副理事長）、懸久雄（静岡組合事務局）、戸嶋松一郎（愛知組合専務理事）、杉森則夫（愛知組合次世代委員・理事）、藤井順子（愛知組合事務局）

【情報・流通委員会】

鈴木英治（担当副理事長・愛知組合理事長）、関好文（委員長・三多摩組合理事長）、浦口英尚（委員・和歌山組合副理事長）、坪谷敏彦（委員・新潟組合理事長）、鷹尾政夫（委員・静岡組合理事長）、大和田謙介（日装連事務局）、善明剛史（日装連新聞編集担当）

ディスカッション概要

若手人材の不足

約2時間のディスカッションの中でさまざまな意見が出されたが、すべての組合において共通する課題だったのが次世代を担う若手の人材が少ない、ということだった。

青年部を組織する組合もあるが、本体の組合員数と比較してもかなり少なく、人数確保のため年齢制限も緩和せざるを得ず、青年部の高齢化も進んでいるのが実情だ。「青年部」から「次世代会」への名称変更を検討する組合もあった。

組合だけでなく、内装業界として若手が少なくなっている、との指摘もあった。

昔は手に職をつければ一生食べていけると言われていたが、今は本当にそうなのか、内装職人が稼げる状態にあるのか。ここに根本的な問題があるとのことであった。

ネットワーク不足

かつては内装業者同士の横のつながりがあり、仕事上の助け合いは当たり前の状態だったが、今はそうしたネットワークは失われてしまっている。

その原因の一つとして挙げられたのが問屋などへの職人依存である。職人が足りなくなると材料とともに職人手配を依存する。それが長年続いたことで、内装業者同士のネットワークが薄れてしまったという指摘だ。

このネットワーク不足も若手が少なくなる理由にもなっている。若手の間で情報交流ができる場があれば、状況はかなり異なってくるはずだ。組合の存在価値はそこにあるのではなかろうか。

（4面につづく）

明日への提言

JR大宮駅のホームに駅弁を販売している店舗があります。コロナ禍以来、営業したりしなかったりで、形としては箱だけが残っている状態です。その店舗は、壁面に昔のお弁当の包み紙が占め尽くされたデザインのフィルムで一面を覆った装飾になっています。昭和20～40年頃の数十枚の包み紙、販売日がわかる当時のハンコが昔を物語っています。よく見ると、100～250円位までの販売価格が印字されていて、その20年間の値段の変わり様がよく見て取れます。

話は変わりますが、埼玉組合も創立50年をもう少しで迎えるこの時に、我々理事のメンバーはチャーターメンバーのご子息や若い年代に少しずつ代替わりし、25年前に創立した当時の青年部メンバーが親会の理事の半分以上を占めるようになりました。

改めて、当時の青年部活動が親会運営の礎になっていることに気付かされます。

同志である当時の青年部メンバーは、組合の思考や方向性を話題として取り上げ、変えていかなければならないことと継承していかなければならないことの分別をしてきたおかげで、今では整理されています。そんな理事メンバーに支えていただきながら、新しい50年を創るための組合運営は根幹の変革がはじまっています。

どの業界でも波があり、建設業界、とりわけ内装業界においては、右肩下がりの難しい局面に入りました。これは日本の通ってきた時代と同じ流れで、停滞を辿っています。組合員数も今は少し上向き傾向にありますが、全体的には右肩下がりが続き、個々の組合員の事業運営も全体的に下がっている傾向にあります。若い人手は他の業界へ流れてしまい、社会保障等国の方針も厳しく、苦しい運営を強いられています。考え方、環境改善について同じ方向へ業界全体いきました。我々業界はどうでしょう。先代から聞いている昔話が本当であれば、成長なき残念な数十年です。

業界レベルでいくと、農業や林業、観光業、IT技術関係等に対しては国が手厚く補助金等を交付し、働き方を含めて変わりはじめました。我々も、今後も引き続き必要とされる業界に変えていくために、時には組合事業の一つに政策提言や社会貢献活動など、他の組合活動を参考にしながら業界の底上げになるような動きも必要かと思います。

社会から必要とされる建設、内装業界へのパラダイムシフトが、今のこの業界に求められていると考えます。

社会から必要とされる内装業界へ

が纏まって進んでいかないと、社会から、とりわけ若い人材からも業界が見捨てられ衰退してしまいます。

今や、お弁当価格も一つ1000～2500円。冒頭の話から10倍の販売価格まで上昇して

埼玉県室内装飾事業協同組合
理事長　大附泰久

主なニュース

3面　技能検定・化粧フィルム工事作業 全国合格者数一覧
4面　日リ協コラム24 登録内装仕上工事基幹技能者講習 大阪・金沢会場合格者発表
8面　最前線探訪75 岩手組合

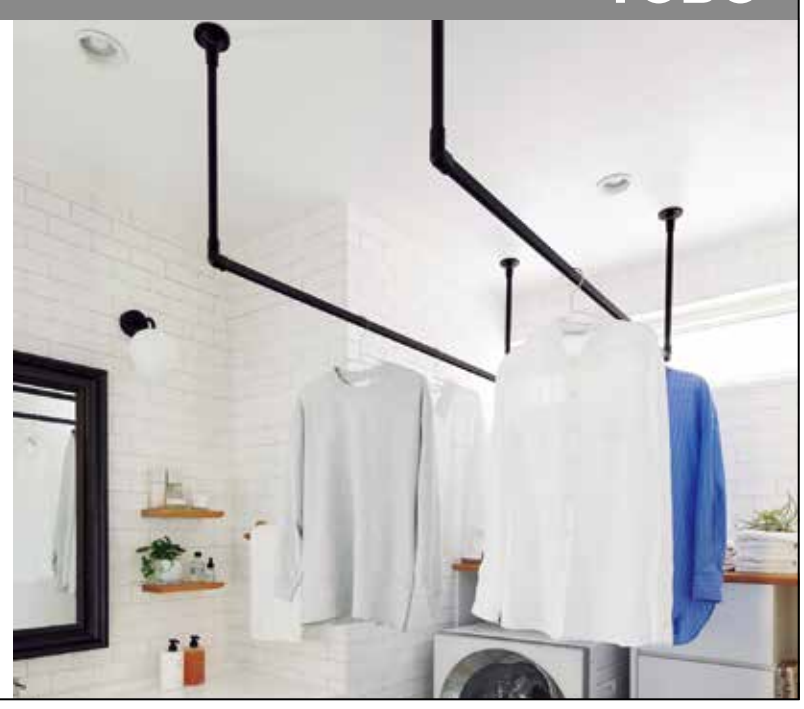
TOSO

2022.09 NEW

軽天下地にも取付
ができるようになりました。

ハンギングバー H-2

許容荷重 10kg
可動タイプ
天井付
軽天下地対応



日装連会議録

常任理事会　12月6日開催

第57回通常総会

6月2日・八芳園での実施を決定

日装連は、12月6日13時30分よりzoomを使用してリモートにて常任理事会を開催した。

リモート会議の性質上、今回は事務局員の大和田が司会・議事進行を務めた。

まず初めに小坂田理事長よりご挨拶が行われ、続いて会議次第に則り討議がなされた。

報告事項

①12月5日時点での各種ラベルの支給状況について

前年比で防炎ラベルが102%とほぼ前年対比で同様の推移をしているものの、敷物ラベルに関しては114%と前年を大きく上回っているとの報告があった。また壁装ラベルも前年比101%とほぼ前年と同様に推移していることが報告された。

ラベル全体で前年比102%という結果を受け、下期も残り3ヶ月余りとなっていることからこのまま推移すれば前年同様の数字で落ち着くのではないかとの見解が示され、今後の動向を見ていくこととなった。

②各委員会報告について

【総務委員会】

まず技能検定実施状況に関するアンケートについて、具体的な調査実施がまだできていないことが報告された。アンケート実施へ向けて準備を進めていくこととした。

また4月下旬から5月前半において2022年度決算報告の承認、また事業報告、計画の作成のため委員会を開催する予定であることの報告が合わせてなされた。

【防災・施工管理委員会】

国土交通省主導のもと、「建設工事における安全衛生経費の適切な支払いに向けて」の提言が示され、学識経験者や建設業関係団体等による「安全衛生対策項目確認表及び標準見積書に関するWG」を設置する旨の通達があった。日装連も検討チームとして指名を受けたことから委員会内において議論をすすめていく旨の報告がなされた。まずは12月16日までに「安全衛生対策項目の確認表」を取りまとめ、国交省へ提出していく。今後は来年3月を目標に当該確認表の完成を目指すこととした。

【情報・流通委員会】

12月12日に愛知組合会議室に於いて情報・流通委員会を開催後、中部ブロック会 日装連新聞タウンミーティングを開催する旨の報告がなされた。

タウンミーティングでは「日装連新聞に期待される役割」をテーマとして議論を行う予定。タウンミーティングの内容を今後の日装連新聞へ活かし、新聞のさらなる充実を図っていくこととした。

【日ID・教育資格委員会】

先日10月25日開催の全国組合理事長会において報告がなされた「日装連認定のインテリアデコレーター」試験実施について11月22日に日ID特別委員会を開催した旨の報告がなされた。内容については運営規程や実施方法等について再確認を行い、実施へ向けた課題をクリアしていくこととした。

【青年部・次世代委員会】

先日10月26日開催の青年部 全国代表者会議の総括を行うため、11月15日に青年部・次世代WG会を開催した旨の報告がなされた。総括としてはおおむね良好に開催できたものの、時間管理や事前準備の不足など次回開催への課題も多く残ったことが報告された。

次回開催の際に反省を活かし、さらなる充実を図っていくことで全国の青年部会活性化へつなげていきたいとの意向が示された。

③第57回通常総会開催日程について

来年度開催の第57回通常総会を6月2日（金）八芳園において開催をする旨の報告がなされた。それにともない、総会提出議案の承認を行う第224回理事会を5月中旬に開催することが合わせて報告された。日程については改めて調整していくこととした。

④2023年度全国組合理事長会開催日程について

来年度のJAPAN TEX2023の開催日程が11月15日～17日（東京ビッグサイト）となる見込みから、前日にあたる11月14日（火）に全国組合理事長会を開催する旨の報告がなされた。

開催場所は2019年開催以来4年ぶりとなる東京ベイ有明ワシントンホテルにて執り行う計画であることも合わせて報告がされた。

⑤日装連事務局の年末年始の執務について

年末年始の事務局執務日程について、例年通り2022年12月29日～2023年1月4日を休業とすることの報告がなされた。

⑥次回開催日程について

次回は2月10日（金）14時30分より日装連会議室において開催することとした。

以上、最後に小坂田理事長より締めのご挨拶を頂戴し、閉会となった。

【出席者】

小坂田達朗（理事長・大阪）、関山豊光（副理事長・福岡）、宮本外次（副理事長・石川）、鈴木英治（副理事長・愛知）、椎津雅夫（副理事長・東京）、竹内剛（副理事長・広島）、山﨑正通（顧問・日装連）、大和田謙介（事務局・日装連）

登録内装仕上工事基幹技能者講習

金沢・名古屋で開催

金沢会場

名古屋会場

日装連、全室協、ジェイシフの内装3団体で運営する登録内装仕上工事基幹技能者推進協議会は「登録内装仕上工事基幹技能者講習」金沢会場を、11月9日～11日に金沢市異業種研修館にて、名古屋会場を11月30日～12月2日にウインクあいちにて実施した。

金沢会場の受講者は27名（うち日装連関連7名）、名古屋会場の受講者は22名（うち日装連関連2名）だった。

「登録基幹技能者」とは、熟達した作業能力と豊富な知識を持つとともに、現場をまとめるマネジメント能力に優れた技能者。現場では上級職長として、元請の計画・管理業務に参画し補佐することが期待される。

「登録内装仕上工事基幹技能者」に認定されると建設キャリアアップシステムの最上位レベルとなる。また同技能者が在籍する会社は、経営事項審査で3点の評価ポイントが加算される。

日装連 行事

12月

19日　登録基幹技能者試験・講習委員会
28日　仕事納め

2023年1月

5日　仕事始め
6日　大阪組合　新年祝賀会
10日　東京組合　新年賀詞交歓会
11日　兵庫組合　新年互礼会
19日　神奈川組合　新年に集う会
20日　京都組合　京都組合創立60周年・京都技能士会30周年式典

6月

2日　常任理事会、第225回理事会、第57回通常総会、講演会、懇親会

11月

14日　常任理事会、第226回理事会、日装連理事・全国組合理事長会、講演会、懇親会
15～17日　JAPAN TEX2023

〈組合員リフォーム事業の支援部門〉

ご登録お待ちしています！

国土交通大臣登録「住宅リフォーム事業者団体」

お問い合わせは　事務局まで

一般社団法人 日装連リフォーム推進協議会（略称：日リ協）

https://www.nichirikyo.com

TEL：0120-970-133　FAX：03-6721-5389　E-mail：info@nichirikyo.com

技能検定「化粧フィルム工事作業」実施

全国で1級51名、2級19名が合格

2022年度技能検定「化粧フィルム工事作業」が、全国都道府県にて実施された。

同検定は、近年の化粧フィルム需要拡大を受けて統一した施工方法の確立が不可欠となったことから、日装連の提案で2018年度からスタートした技能検定である。

4回目となる今回は、6月7日～9月11日の期間に「実技試験」、8月28日に「学科試験」が行われ、さる9月30日に合格者発表が行われた。

受験者数は1級123名（前回170名、前々回238名）、2級40名（前回35名、前々回46名）で、うち合格者は1級64名（合格率43%）、2級19名（合格率48%）だった。

都道府県別の詳細は表の通り（数字はいずれも日装連調べ）で、東京、大阪、福岡といった大型物件の多い大都市圏で受験者数が多かった他、沖縄、北海道でも比較的受験者が多かった。その他のエリアでは受験者数の伸び悩みがみられた。

なお昨年に引き続き、「学科試験」よりも「実技試験」の合格率が低く、「実技試験」の難しさが際立った。各県で行うトライアルの参加が合格には欠かせない要素となっている。

2022年度技能検定・化粧フィルム工事作業　都道府県別結果一覧（日装連調べ）

級別	1級							2級						
事項別	受検	学科		実技		合格者	(%)	受検	学科		実技		合格者	(%)
		受検	合格者	受検	合格者		合格率		受検	合格者	受検	合格者		合格率
種(作業名)	申請者	申請者		申請者				申請者	申請者		申請者			
北海道	7	5	1	7	5	2	29	0	0	0	0	0	0	0
青森県	3	1	1	3	1	1	33	2	1	1	2	2	2	100
岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城県	4	1	0	3	1	1	25	2	1	1	2	1	0	0
秋田県	4	2	1	4	3	2	50	0	0	0	0	0	0	0
山形県	1	0	0	1	1	1	100	1	1	1	1	1	1	100
福島県	1	0	0	1	1	1	100	1	1	0	1	1	0	0
茨城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栃木県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬県	5	2	0	5	4	3	60	5	4	3	4	4	4	80
埼玉県	3	1	1	3	1	1	33	1	1	1	1	0	0	0
千葉県	1	1	1	0	0	1	100	0	0	0	0	0	0	0
東京都	14	7	4	14	4	4	29	6	4	3	6	1	1	17
神奈川県	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0
新潟県	3	2	1	3	1	1	33	0	0	0	0	0	0	0
富山県	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福井県	1	0	0	1	1	1	100	0	0	0	0	0	0	0
山梨県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野県	2	1	1	2	1	1	50	0	0	0	0	0	0	0
岐阜県	4	3	2	4	1	1	25	0	0	0	0	0	0	0
静岡県	4	1	1	4	0	0	0	2	2	2	2	0	0	0
愛知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三重県	3	1	1	3	1	1	33	1	1	1	1	1	1	100
滋賀県	1	0	0	1	1	1	100	1	0	0	1	0	0	0
京都府	5	1	1	1	0	4	80	0	0	0	0	0	0	0
大阪府	13	7	6	12	4	5	39	7	5	5	6	4	4	57
兵庫県	1	0	0	1	1	1	100	0	0	0	0	0	0	0
奈良県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和歌山県	1	1	1	0	0	1	100	0	0	0	0	0	0	0
鳥取県	1	0	0	0	0	1	100	0	0	0	0	0	0	0
島根県	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	100
岡山県	3	2	2	3	2	2	67	1	1	1	0	0	1	100
広島県	2	0	0	2	1	1	50	0	0	0	0	0	0	0
山口県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
徳島県	2	1	1	2	1	1	50	0	0	0	0	0	0	0
香川県	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛県	1	0	0	1	1	1	100	0	0	0	0	0	0	0
高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡県	8	6	6	7	2	3	38	3	2	2	3	3	3	100
佐賀県	1	0	0	0	0	1	100	0	0	0	0	0	0	0
長崎県	5	1	1	5	2	2	40	0	0	0	0	0	0	0
熊本県	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大分県	3	1	1	2	1	2	67	5	3	3	5	1	1	20
宮崎県	1	0	0	1	1	1	100	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島県	3	1	0	3	2	1	33	0	0	0	0	0	0	0
沖縄県	9	7	1	8	2	1	11	0	0	0	0	0	0	0
合計	123	58	37	110	47	51	42	40	29	25	36	19	19	48

安全衛生対策に関する経費対策

国交省が「標準見積書」計上に向けWG設置

国土交通省は、建設工事現場における「安全衛生対策」に係る経費が下請け業者まで確実に支払われるための施策を検討する「安全衛生対策項目の確認表及び標準見積書に関するWG」を設置する。

きっかけは、平成28年12月に「建設工事従事者の安全及び健康の確保の推進に関する法律」が成立（平成29年3月施行）し、同法に基づく基本計画が平成29年6月9日に閣議決定されたこと。

この基本計画では、「安全衛生経費については、適正かつ明確な積算がなされ下請負人まで確実に支払われるような実効性のある施策を検討し、実施する」と明記、それを踏まえて実務者検討会が設置され検討が進められてきた。

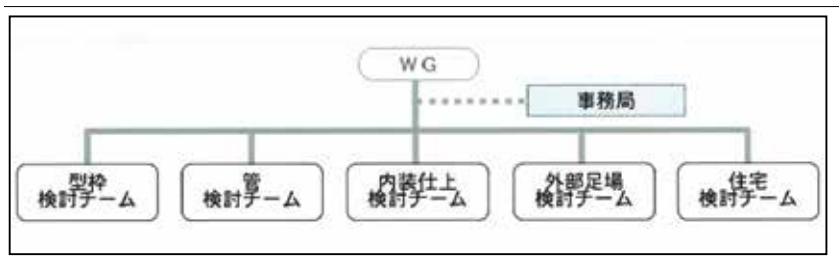
その後、今年6月に提言として「建設工事における安全衛生経費の適切な支払いに向けて」が取りまとめられた。その中で実効性のある施策として「安全衛生対策項目の確認表」の作成と安全衛生経費を見積りの内訳に明示するための「標準見積書」の作成・普及の必要性が示された。

そこでこれらを検討する「安全衛生対策項目の確認表及び標準見積書に関するWG」を設置する運びとなった。

提言では、建設工事の業種ごとに安全衛生対策項目の確認表を作成するとされているが、先行的に5業種（型枠・管・内装仕上・外部足場・住宅）から進めていくことになった。その中に「内装仕上」も含まれている。

WGには、「内装仕上検討チーム」が設置され、日装連（防炎・施工管理委員会）、全室協、ジェイシフの内装3団体が参加し、具体的な施策を進める。

今後、全国都道府県組合の協力を得て、「安全衛生対策項目の確認表」の項目チェックを行い、来年3月頃に同確認表のとりまとめを行う。最終的に「標準見積書」への計上を目指す。



電話すると退職金をもらえる可能性があります。

1～3の条件を満たす方は、まずお電話でお問い合わせください。※条件を満たしていても受給できない場合がございます。

まずはお電話を 通話料無料 0120-867-186

●受付期間及び受付時間は、令和4年12月1日(木)～令和5年1月31日(火)の平日9：00～17：00(土日・祝日・年末年始を除く)となっております。●受付期間を過ぎますと不通となりますことをご了承ください。

けんたいきょう　独立行政法人　勤労者退職金共済機構　建設業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL 03-6731-2866

www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp　建退共

登録内装仕上工事基幹技能者講習

大阪会場、金沢会場の合格者発表

日装連、全室協、ジェイシフの内装3団体で運営する登録内装仕上工事基幹技能者推進協議会は、11月24日に基幹技能者試験・講習合同委員会を開催し、登録内装仕上工事基幹技能者講習の大阪会場（9月7日～9日）、金沢会場（11月9日～11日）の合否判定を行った。

日装連関係の合格者は、大阪会場が7名、金沢会場が7名の計14名だった。

登録内装仕上工事基幹技能者講習 合格者一覧

大阪会場

組合	氏名	事業所
大　阪	大橋　茂樹	㈱オブロン
大　阪	酒井　雅広	㈱オブロン
日装連	木﨑　大介	㈱創信
大　阪	可児　　勝	㈱HSクリエイティブ
愛　知	木本　　亮	㈲相互建装
滋　賀	葛畑　真一	㈱クズハタ装飾
京　都	藤井　　進	㈱ギアリズム

金沢会場

組合	氏名	事業所
石　川	五十里弘一	㈱丸和
石　川	山村　浩士	荒川内装
石　川	蔵　　孝吏	蔵内装
福　井	浜本　良一	浜本建装㈱
福　井	竹山　信弥	竹山内装
富　山	辻　　和博	第一交易㈱
富　山	的場　正弘	第一交易㈱

インテリアコーディネーター資格試験

一次試験をCBT方式に変更

インテリア産業協会

（公社）インテリアコーディネーター資格試験・一次試験の実施方法について、2023年度よりマークシート方式からCBT方式に変更する。

同試験では、これまで毎年定められた試験日に、全国9地域に設置した会場で一斉に実施してきたが、昨今の気象災害の激甚化や新型コロナウイルス感染症などの新しい脅威のもとでは、従来どおりに試験が実施できない事態も想定される。そこで同協会では検討を重ねた結果、2023年度の試験（一次試験）より「CBT方式」での実施に移行することを決定した。

CBT方式とは、試験会場での全国一斉実施ではなく、受験期間中に全国各地に設置されたテストセンターにあるパソコンで受験するというもの。受験期間は9月中旬から10月中旬の約1か月間を予定し、その期間中に1回のみ受験することが可能となる。

CBT方式への移行にともない、一次試験の試験時間を従来の160分から120分に短縮し、時間短縮に合わせて出題数を従来の50問から36問に削減する。試験出題範囲や審査基準に変更はない。また一次試験会場数は大幅に増加するため受験者にとっては、受験機会の増加や利便性の向上が期待できる。

なお二次試験は従来どおりの形式で実施する。

日リ協コラム㉔

「リフォームの質」を考える

～超高齢社会ではインテリアリフォームこそ価値あること～

2025年は団塊世代の人々が全員75歳以上となり、2040年には1人の高齢者を現役世代のわずか1・5人で支えなくてはならない厳しい時が来ることはご承知のとおりです。高齢者は「いつまでも我が家で暮らしたい」と希望しており、一方で特養ホームは待機者で溢れ、有料老人ホームでは費用が高額のため入所者は限られ、サービス付き高齢者向け住宅は手厚いケアは見込めません。

国策では「地域包括ケアシステム」を掲げ、中学校単位地域を一つのエリアとして、福祉・医療・コミニティーの場を居住地に配置して、持続可能な高齢者サポートを実現させようとしています。

この施策で最大のポイントは普通に暮らせなくなった高齢者でも「ふつうの暮らしができる住まい」の整備です。現役時代には「家の構造や設備に合わせて動いていた」のですが、身体機能の低下によりさまざまなバリアが発生することから、高齢者の住まいは「身体機能に合わせた住環境」が絶対条件となります。

では、その住環境整備はいったい誰が行うのでしょうか？　紛れもなく、インテリアリフォームの専門家、つまり私達の役割です。

住まい手の動作を補助する手すりの取付けや段差解消、疾病防止のための寒暖差を解消する断熱化、安全に設備機器を使えるようにするための設備機器交換、認知度が低下しても自由度を損なわず暮らせるIoT機器の設置、福祉用具の利用に支障がなく精神的にも安寧を保てるインテリア空間など、住まい手個人の状態や環境、諸条件に合わせた個別の対応が求められるところです。

ただし介護・福祉の各種サービスとの関わりや医療的な配慮も必要なことから、この仕事は多職種連携のチームプレーになります。そしてコーディネート役は内装建築の知識と技術を持つインテリアリフォーム事業者であることが望ましいと考えます。

チームで住まい手の希望を叶え、安全・安心な暮らしを提供し、社会システムにも貢献する……。これこそ価値あるリフォームであり、高い品質にもなり得るものだと思っています。

しかし、実際のリフォーム手段の検討は簡単ではないことも多いはずです。そんな時、日リ協のサポートダイヤルでご相談いただけます。あらかじめ確認や調査すべき事項を共有し、福祉サービス側の考えを掌握し、建物環境や予算等を踏まえてリフォーム手段をご一緒に検討致します。また介護保険住宅改修制度の詳細についてもご説明致します。

組合員の皆様には日リ協をご活用いただきながら、地域で信頼される一番店になっていただけることを願っています。

リフォーム豆情報　**新しいリフォーム補助金は こうして利用すればお得です**

来月から本格スタートする補助金は、国交省（こどもエコすまい支援事業）と経産省・環境省（住宅の断熱性能向上のための先進的設備導入促進事業）の3省が連携した大型・超有利な制度です。上手な活用方法としては、内窓設置を断熱性向上促進事業で計上して、それに省エネ機器やバリアフリー改修や子育て改修等のインテリアリフォームを加えることで、こどもエコ事業の30万円を超える補助額になります。11月契約分から有効。事業者登録は1月中旬からです。ぜひご活用を。

日装連新聞タウンミーティング（1面から）

女性活用が突破口に

職人不足、若手人材不足を補うために外国人材の活用が積極的に行われている。特定技能外国人材受入事業を行っていることから、同事業を目的に組合へ加入するケースも少なくないという。

もう一つ、人材不足を補う大きな可能性を秘めているのが女性活用である。

内装・インテリアの世界では、もともとインテリアコーディネーターやカーテン販売といったソフト面で女性が大いに活躍してきたが、近年は職人の世界にも女性進出が目立ってきているという。内装業界でも女性クロス職人が増え、技能検定・化粧フィルム工事作業に挑戦する女性職人もいるそうだ。

国交省も、公共工事の現場には女性用トイレを必ず設置するなど指導するなど女性の建設現場進出を後押ししており、今後ますます増加しそうだ。

肝心の職人としての技術も男性に劣るところはなく、逆に細かな配慮が行き届いており、きれいに納まることが多い。またクレームやトラブルが男性職人と比較してかなり少ないのも特徴という。これは技術面というよりも、普段は厳しい現場関係者も、女性職人には寛容に接してくれるためである。

業種によっては、女性職人チームを結成し、大きな成果をあげる会社も出てきているとのことだ。

女性の内装職人が増えれば現場に活気がでてきて、横のつながりも復活し、男性の若手職人も増えてくる、といった好循環につながるかもしれない。まさに女性活用が、内装業界が抱える課題の突破口になるのかもしれない。

◆

情報・流通委員会では、今回のタウンミーティングの内容を十分に検討し紙面に活かしていきます。今回は「女性活用」という、今までにない視点を得ることができ大変有意義でした。

次回、日装連タウンミーティングは2023年3月を予定しています。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

（関好文委員長）

北から南から　クローズアップ

地域イベントに積極参加 内装・インテリアの魅力を訴求

和歌山組合

和歌山組合では、11月5日に「紀の国わかやまものづくり教室2022」、23日に和歌山県中小企業青年中央会主催「第1回 ゆにフェス お仕事体験・展示会」に参加した。

コロナ禍ながら社会・経済活動が再開してきた中で、これまで中止されてきた地域イベントも実施されるようになってきた。和歌山組合では短期間で2つのイベントに参加し、地域の人たちと積極的に触れ合った。

「紀の国わかやまものづくり教室」ではタペストリーづくり、「ゆにフェス お仕事体験」ではファブリックパネルのワークショップを実施、地域の子どもたちに内装・インテリアの魅力を訴求した。

「紀の国わかやまものづくり教室2022」

「第1回 ゆにフェス お仕事体験・展示会」

業界情報アラカルト

防滑性ビニル床シート「ノンスキッド」発売 新しいライフスタイルを提案

サンゲツ

サンゲツは、マンションの共用部やバルコニーをデザイン性豊かに演出する防滑性ビニル床シート見本帳「2022-2024ノンスキッド」を、このほど発行した。

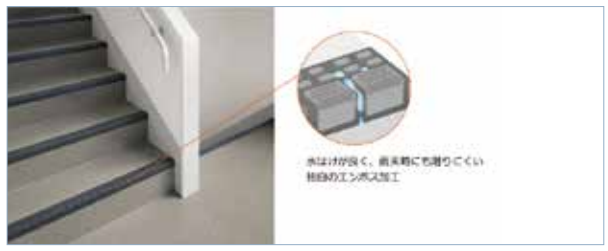
新「ノンスキッド」では、機能性に加えデザイン性を充実させ、新たなライフスタイルを提案する巻頭企画「アウトドアリビングルーム」を掲載する。

「アウトドアリビングルーム」を提案

「アウトドアリビングルーム」では、住空間のトレンドであるアウトドアをテーマに、マンションのバルコニーをもうひとつのリビングとして楽しむライフスタイルを紹介、従来は機能が重視される傾向が強かった防滑性ビニル床シートを、自宅でお出かけ気分を味わうことができるアイテムとして活用した新たな空間コーディネートを提案する。

また機能面においては、独自開発の段鼻のエンボスにより水はけが良く安全性の高い「ノンスキッド・ステップ」を新たに掲載したほか、メンテナンス性に優れた「お掃除かんたんノンスキッド」を従来の67点から75点に拡充した。

この他、同見本帳では初となる全商品の施工例写真を用意、QRコードでアクセスすることで確認ができるようになっている。



「ノンスキッド・ステップ」

不燃シート製防煙垂れ壁「かるかべ」軽量・破損しにくい不燃シート製

帝人フロンティア

帝人フロンティアは、ガラス製に替わる軽量・破損しにくい垂れ壁として、不燃シート製防煙垂れ壁「かるかべ」を発売、内装仕上業者へのPRを強化している。

防煙垂れ壁とは、建築基準法で定められた防煙区画を構成する防煙壁のことで、天井から50センチ以上垂れ下げた壁により、火災時に煙の流動を遮断、避難する時間を確保する役割を持つ。

その一方、従来はガラス製の垂れ壁が主流のため、大規模地震が発生した際にガラスが飛散し怪我をしてしまうという二次災害のリスクもあった。

その問題を解消するのが「かるかべ」である。国交省不燃認定を取得する透明度の高い（透光率90％以上）不燃シートを使用しているため、ガラスのような破損の心配がない。また従来のガラス製と比較して約1／10の軽量化を実現、独自のサイズ調整機能「テンション調整ホール」（特許取得済み）を備えるなど施工性も高くなっている。

商品ラインナップは、「スリムタイプ」と「テンションタイプ」の2タイプ。テンションタイプには、両端部に装着した「衝撃吸収バネ」が装備されている。これは地震などで建物と天井が別々の揺れ方をする際に発生する変位を吸収することで、フレーム自体が落下する可能性を大幅に低減する機能で安全性がより高くなっている。

「かるかべ」施工例

「採用したい建材2022」タイルカーペット部門で第1位に選出

東リ

東リは、日経BP社が発行する建築の総合情報誌「日経アーキテクチュア」の「採用したい建材・設備メーカーランキング2022」タイルカーペット部門にて、昨年に引き続き第1位に選出された。

同調査では、同誌読者のうち一級建築士5000人に対して書面でアンケートを依頼、また日経クロステック建築・土木のウェブ会員のうち一級建築士2万603人に調査依頼メールを送付、その後インターネット調査を行うというもので、「採用経験があり、今後も採用したい」と「採用経験はないが、今後は採用したい」の回答割合の合計によりランキングを行う。

採用したいと考える理由については、「機能性」「耐久性」「省エネ性能」「デザイン」「コスト」「サポート」の計6項目における評価者の割合が数値化されている。そのタイルカーペット部門にて、第1位に選出された。

「アコーデオンカーテン」レザーをリニューアル

立川ブラインド

立川ブラインド工業は、間仕切「アコーデオンカーテン」のレザーラインナップをリニューアル、来年2月1日に新発売する。

コロナ禍により抗ウイルス・抗菌ニーズが増加している。またホームユースにおいては、ワークスペースの確保など、フレキシブルに間取りを変えて空間を有効活用するための間仕切り需要が高まっている。今回のリニューアルはそうしたニーズを捉えたもので、トレンドを踏まえた新柄を追加しより幅広いシーンで使用できるようにした。また取手など手の触れる部品を抗菌化し「抗菌SIAAマーク」を取得した。

「アコーデオンカーテン」新柄

来年10月社名を「KLASS株式会社」に変更

極東産機

極東産機は、来年10月1日、同社創業75周年にあわせて社名を「KLASS株式会社」（英文表記 KLASS Corporation）に変更する。

同社は、昭和23年10月に「龍野ギヤー製作所」として創業、その後昭和41年に現社名に変更した。現在、令和5年10月の創業75周年、さらに80周年を踏まえた中期的な方向性を、3つの基本テーマ「CIの再構築」「『2・4次産業』への展開」「当社事業のSDGsへの貢献」に基づいて進めている。

このうち「CIの再構築」については、新たな理念体系をStatement（=つなぐ。ツクル。）、Mission（存在意義）、Belief（経営理念）、Value（行動指針）の階層とするとともに、社名を「KLASS株式会社」に改めることとした。

新社名の「KLASS」は、それぞれ「KYOKUTO」「LIFE」「ADVANCED」「SOLUTION SERVICE」の頭文字からなり、従来の産業機械メーカーの枠を超えた「2・4次産業」を志向しつつ、人々の生活や社会が抱える問題の解決への貢献により、さらなる発展を目指したいという思いが込められている。

なお社名変更は、12月23日開催予定の第74回定時株主総会において、定款の一部変更が承認されることが条件となる。

「理想の暮らしをかなえるリビングの本」

トーソー出版

トーソー出版は、リビングルームでの過ごし方別に実例やアイデアをまとめた書籍「理想の暮らしをかなえるリビングの本」を発刊した。

同書では、ライフスタイルや暮らし方が変わっていく中においても、「住まいの中心はリビングルーム」と考え、働く、もてなす、などの行動別にリビングを素敵に使いこなす人たちの個性豊かな住まいを事例写真とともに紹介する。

さらに理想とするリビングの過ごし方を実践するためのアイデア集や、ハウスメーカーの最新リビングルーム事情など、役立つ情報も掲載する。

A4変形版、128ページ。価格は3080円（税込）

北から南から

日装連単組レポート

Nov. 2022 11

北海道ブロック

北海道

1日　日本ハム斡旋販売（お歳暮）パンフレット発送。
22日　日装連ID特別委員会に渡邊委員長が出席。

東北ブロック

青森

10日　「県内建設業の人手不足に係るヒアリング」調査の為、青森県県土整備部監理課より2名が組合事務局に来所。対馬理事長が対応。
同日　対馬理事長と事務局にて事業運営打合せ。
14日　インボイス制度説明会を開催。21名が受講。講師・青森税務署職員。
30日　青森県建設専門工事業団体連合会第2回代表者会議に対馬理事長が出席。

岩手

1日　2022年第2回理事会を開催。
18日　不燃シート製防煙垂れ壁「かるかべ」商品説明会を開催。18名参加。
29日　2022年第3回理事会を開催、日装連新聞の取材をアイーナ会議室で受けた。

宮城

10日　組合員にインボイス制度の事前準備についてのチラシ、丸大食品斡旋販売パンフレットを送付。
29日　役員会開催。
同日　宮城県職業能力開発関係表彰式。【受賞者】宮城県知事表彰技能検定功労者・㈱丸西高橋将利氏。

関東ブロック

茨城

☆24日　日装連関東ブロック会理事長会開催。
16日　理事会開催。白田理事長、冨山理事、増渕理事相談役、大森理事、田辺理事、事務局山口氏が出席。

栃木

4日　上田理事長及び事務局にて10月組合収支状況確認及びラベル発行売上状況確認。
9日　組合員・ラベル会員その他取引関連業者対象の「インボイス制度の基礎と対応について」の講習会実施。45名（組合員16名、ラベル会員24名、取引関連業者5名）が受講。
10日　栃木県中小企業団体中央会主催「インボイス制度の概要と電子帳簿保存方法の注意点」講習会参加。

群馬

3日　前理事長で理事相談役の青木囡衛氏（㈲インテリアシキシマドー）、旭日双光章受章。
4日　群装協三役会・11月度理事会開催。出席者・渡邉理事長他13名、事務局2名、Zoom出席4名。
5日　群馬県職業能力開発協会及び群馬県技能士会連合会合同研修会（技能五輪視察研修）。佐藤技能士会長、他6名出席。
同日　賛助会員㈱ホシケン様展示会協力。渡邉理事長、小澤副理事長、高橋専務理事、倉持理事が参加。ブース内容・過去のオンライン講習会、群装協写真スライドショー。群装協組合員及び青年部部員募集。
8日　群装協第61回ゴルフコンペ（プレーのみの開催）。組合員・賛助会員他21組82名が参加。
9～11日　中小企業団体中央会全国大会（長崎県大会）※中央会コース。青木理事相談役が出席。

福島

15日　県北支部役員会開催。6名が出席。
同日　会報「県室協ニュース」第49号発行。

秋田

2日　組合創立50周年記念誌についての打合せ。
15日　記念誌に掲載する広告の募集依頼を組合員・賛助会員に送信。

山形

17日　中央会との打合せ。第40回山形県中小企業団体青年部大会について。事務局が対応。
25日　組合員に対し、組合事務局の年末年始休業のお知らせを通知。
30日　理事会について野口理事長と事務局打合せ。
9日、15日　中央検定委員会議。9日、久保田雅幸氏。9日、15日、久保田努氏。
17日　防火壁装講習会・防炎業務講習会（午前・午後）講師・久保田雅幸副理事長。委員・水澤理事、受付・事務局中川氏。更新43名、新規1名が受講。
18日　群装協第18回オンライン講習会無料YouTubeLIVE配信。講師・立川ブラインド工業㈱前橋営業所長齋藤氏、リリカラ㈱北関東営業所花岡氏。担当協力・今井理事、倉持理事（準備）、事務局中川氏、新井氏。組合員対象申込者20社24名。視聴回数84回。テーマ・「カーテンのプロが教える窓まわりの㊙テクニック」。
24日　令和4年度群馬県職業能力開発促進大会【表彰者】群馬県優秀技能者表彰・久保田雅幸氏。群馬県技能士会連合会会長表彰・久保田雅幸氏。佐藤技能士会長が出席。
29日　高崎市社会福祉協議会お米寄贈。内田理事が出席。群装協ゴルフコンペ賞品（お米）を寄贈。
30日　群技連より、令和4年度ものづくり体感事業（高崎市立岩鼻小学校）6年生23名が参加。技能士会8名が参加。内容・内装仕上げ（マジックパズル）。

埼玉

2日　防火壁装講習会・防炎業務講習会。76名が受講。講師・嶋村教育資格委員長、宮澤教育資格委員。
9日　第6回理事会（ハイブリッド開催）。出席者13名、欠席2名。
15日　日装連青年部・次世代委員会WG会（Zoom）。出浦専務理事出席。
18日　青年部第6回役員会（ハイブリッド開催）。会長、副会長、各委員会委員長が出席。
22日　青年中央会第8回役員会。本木副理事長出席。
24日　第2回特別委員会開催。池副理事長、間山副理事長、嶋村副理事長、浦専務理事、角田理事相談役、飯塚理事相談役、大附理事長、事務局が出席。
28～29日　内装材に関わる物にふれる研修会（日装連ID研修会）。主催・埼玉県内装仕上施工技能士会。協賛・埼玉県室内装飾事業協同組合。【内容】28日（座学）・置き敷き型長尺塩ビシート床材リコンテ㈱エービーシー商会）。パテの基礎（㈱ニットー）。デジタルプリントシステムハイグラフィカ（㈱サンゲツ）。水性リフォームパテW（ヤヨイ化学工業㈱）。下地調整（ウォールボンド工業㈱）。粘着剤付化粧フィルムパロア漆喰ルマージュ（リンテックサインシステム㈱）。29日（実技講習）・メラミンタイル施工実演、体験。フラットBOXを使用したパテ、時短30分パテの研修。リコンテ施工実演、体験。単層シートの巻き上げ工法、出入り隅の処理方法。ハイグラフィカ施工実演、体験。デジタルプリンターを活用した壁紙、化粧フィルム、ガラスフィルム、ロールスクリーンの施工体験。講師・組合渡邉技能委員長、技能士奈良田技能士、山中技能士、折原技能士、中山技能士、若林技能士。受講者・見学者等77名。
29日　大附理事長組合事務所執務。

千葉

10日　令和4年度官公需確保対策地方推進協議会（オンライン会議）。事務局が出席。中小企業庁・官公需法に基づく「令和4年度国等の契約の基本方針」の概要等について。全国中小企業団体中央会・官公需適格組合の活用について、令和4年度官公需確保対策地方推進協議会他。
11日　令和4年度随時実施技能検定実技試験表装（壁装作業）。3級4名が受検。検定員・菅沼金吾氏（㈱リンクスコーポレーション）、高橋登志弥氏（㈱双葉アメニティ）、川村賢司氏（美友産業㈲）。
同日　定例理事会開催。

東京

1日　総務委員会開催。委員長、委員1名、理事長、理事2名、監事2名、事務局3名が出席。
9日　11月定例正・副理事長会開催。理事長、副理事長3名、事務局3名出席。
同日　11月定例理事会開催（ハイブリッド形式）。理事12名、監事2名出席。
21日　広報委員会（ハイブリッド形式）。副委員長、委員3名、事務局2名参加。
29日～30日　職長安全衛生責任者教育講習。組合員11社20名が参加、全員に修了証が交付された。

三多摩

17日　防火壁装講習。3名が受講。講師・加藤理事、山田副理事長。
22日　企画委員会開催。委員3名、他1名合計4名が出席。
24日　防火壁装講習。9名が受講。講師・岩﨑理事、山下理事。

神奈川

1日　労働新聞社取材。対応者・渡邊専務理事。
7日　三団体連絡協議会に福本理事長他8名出席。
9日　防炎ラベル電子申請システム検討会議。渡邊専務理事、中央会組合支援部2名が出席。
同日　中央会床張替え工事工程会議。李理事、渡邊専務理事、中央会業務推進部2名他が出席。
10日　令和4年度防火壁装講習会（臨時・新規）。講師・渡邊専務理事。新規取得1名が受講。
14日　令和4年度防火壁装講習会（臨時・新規）。講師・渡邊専務理事。新規取得2名が受講。
16日　中央会広報紙取材。対応者・渡邊専務理事。
18日　令和4年度中小企業団体交流会・講演会。福本理事長、専務理事、他1名が出席。
21日　神奈川県火災共済協同組合理事会。専務理事が出席。
22日　事務局だよりVol.40発信。
25日　随時3級技能検定内装仕上施工（プラスチック系床仕上げ工事）。内容・外国人実技試験計3名。長澤理事、田子副理事長を検定委員として派遣。

北信越ブロック

新潟

9日　日装連情報・流通委員会新聞編集会議に坪谷理事長が出席。
18日　出前講座準備。樋浦理事が出席。
19日　出前講座（新潟市立黒崎南小学校実施）。クロス張とPタイル貼りの体験。小学生、父兄含め40名ほどが参加。樋浦理事、衣川専務理事、藤田監事が参加。

富山

9～11日　登録内装仕上工事基幹技能者講習（金沢会場）。2名が受講。
14日　富山市技能勤労者表彰・大澤貴之氏（付き添い出席・内山支部長）。
15日　暴力追放富山県民大会。平岡専務理事出席。
同日　日本壁装協会三瓶事務局長来組。小倉理事長、高田事務局が出席。11月16日壁紙施工講習会打ち合わせ、挨拶。
16日　定例理事会開催。小倉理事長他9名が出席。
同日　壁紙施工講習会。受講者8名、見学者25名。小倉理事長、日本壁装協会前田理事、宮本副理事、二瓶事務局長が出席。講師・壁装研究会中村表装中野正和氏。（写真別掲）
18日　忠政会臨時総会に小倉理事長が出席。
21日　富山県中小企業団体中央会大会に小倉理事長、川西副理事長が出席。
25日　インボイス制度についての講習会（写真別掲）。12名が参加。挨拶・川西副理事長。講師・橋本浩史税理士。司会・金子理事。（会場設営等・中央会担当者四方田氏）
同日　富山県職業能力開発協会すぐれた技能者表彰・橋本嘉文氏。

山梨

2日　第40回全国技能士大会に桜井理事長が出席。
11日　第41回山梨県技能まつり出展団体会議。事務局1名が出席。
20日　第41回山梨県技能まつり。桜井理事長他内装仕上げ施工技能士会が参加。内容・砂絵教室、額装。
同日　令和4年度山梨県政功績者表彰式。受賞者・桜井理事長（産業分野）。
29日　第43回山梨県職業能力開発関係表彰式。受賞者・桜井理事長（中央職業能力開発協会会長表彰技能検定委員）。

石川

2日　三役会を開催。三役4名が出席。
4日　令和4年度消防機器開発普及功労者表彰（消防庁長官表彰）表彰式。受賞者・宮本理事相談役。
8日　技能検定合格者合格証交付。石川県内装仕上技能士会、技能検定試験合格者が出席。
9日　三役会を開催。三役4名が出席。
同日　ボウリング大会開催。組合員、賛助会員72名（女性10名、男性62名）。
16日　第4回理事会を開催。理事9名、事務局職員が出席。
18日　（一社）日本壁装協会2022年度第4回理事会開催【リモート】。宮本理事相談役が出席。
29日　青年部次世代委員会ボランティア活動。青年部次世代委員会・石川県内装仕上技能士会計22名が参加。（写真別掲）

福井

2日　福井県技能士会連合会第5回新規事業検討会。事務局員が出席。
8日　帝人フロンティア「かるかべ」説明会。帝人大阪キャンバス資材課藤岡市、浜本理事長、小林副理事長、西村副理事長、友高専務理事他理事8名出席。
同日　第6回定例理事会。浜本理事長、小林副理事長、友高専務理事長、西村副理事長、浜本理事長が出席。
10日　福井県中小企業団体青年中央会近畿ブロック臨時理事会に西村副理事長が出席。
14日　福井市技能功労者表彰授賞式。受賞者・元山和彦氏（元山内装工業㈱）、浜本理事長が出席。
16日　福井県中小企業団体中央会主催「動画セミナー」に事務局員が出席。
17日　福井県技能士会連合会新規事業検討会説明会。職能平林氏、浜本理事長、小林副理事長、西村副理事長、友高専務理事出席。
同日　三役会開催。浜本理事長、小林副理事長、西村副理事長、友高専務理事が出席。
22日　福井坂井支部　ボランティア活動（福井市湊保育園）。上坂福井坂井支部長、浜本理事長、元山理事、酒井氏（西原プロジェクト・パコ）、事務局員が参加。
25日　福井県中小企業団体青年中央会全国講習会。西村副理事長が出席。
26日　わかさ支部ボランティア活動（加斗保育園）。高鳥支部長、小林副理事長、内藤氏（ナイトウ工芸）、桑田氏（桑田テント㈱）、藤井氏（㈱ふじ装美）が参加。
同日　福井県中小企業団体青年中央会友好4団体交流会。西村副理事長出席。
30日　一人親方のためのインボイスセミナー。理事長、小林副理事長、友高専務理事が出席。受講者23名。

中部ブロック

岐阜

12日　「インボイス制度に向けて必要な対策・登録申請について」講習会。講師・服部会計事務所藤田所長。中央会支援事業。会場・オンライン参加同時開催。
18日　青年中央会「組合青年部ガヤガヤ会議」に参加。テーマ・「ビジネスにおけるスマホ活用術」。
19日　「ものづくり体験教室」マイスター事業。場所・池田町立温知小学校。内容・壁紙張り体験、和紙貼りブックエンドづくり。講師・谷岡理事、川地委員

長野

10日　組合員向けに国家資格取得祝い金支給申請書、お歳暮ギフトカタログを発送。
22日　組合親睦ゴルフ大会を開催。組合員、賛助会員12名が参加。

富山組合16日壁装施工講習会（写真上）　25日インボイス講習会講習会（写真中）　石川組合29日青年部次世代委員会ボランテイア活動（写真下）

（ものづくりマイスター登録）。
21日　ボランティア活動事業感謝状贈呈式。出席者・岐阜県子ども・女性局長、児童養護施設岐阜県立白鳩学園施設長、虫賀理事長、江口副理事長、川地青年部長。内容・岐阜県へカーテン寄贈、白鳩学園へ配分による岐阜県知事感謝状の贈呈。
21日、22日　岐阜刑務所受刑者に壁装講習を実施。岐阜刑務所の依頼により当組合森本工事技能担当委員を派遣し受刑者に壁装業務を教示。
28日　岐阜県中央会岐阜県建設関連業団体部会県官公需フォーラムに参加。虫賀理事長、江口副理事長が出席。内容・「中小企業の官公需確保を目指して」。懇談会・懇親会。
29日、30日　岐阜刑務所受刑者に壁装講習を実施。岐阜刑務所の依頼により当組合栗田工事技能担当委員を派遣し受刑者に壁装業務を教示。

静岡

17日　2022年度第3回総務委員会開催。鷹尾理事長、副理事長3名、事務局縣氏が出席。
22日　静岡県中小企業団体中央会主催「組合事務局スキルアップセミナー」（組合事業に活かすDX、中小企業のDX化の取り組みヒントが満載）。事務局縣氏が出席。
25日　県知事褒賞受賞式。優良技能検定実施団体・静イン協が本年度県知事褒賞受賞。鷹尾理事長が出席。

愛知

2日　愛知県中小企業団体中央会県大会決議実現促進委員会。鈴木理事長出席。
4日　足場特別教育。講師・市野副理事長、杉森理事。6名が受講。
9日　日装連情報・流通委員会。鈴木理事長出席。
16日　愛知県技能士会連合会理事会に杉森副理事長が出席。
17日　常任理事会開催。
21日　第380回理事会開催。
25日　愛知県職業能力開発促進大会。杉森良昭愛技連理事、山田富男理事が出席。
27日　中田ちづこ後援会第28回総会。西村事務局次長が出席。

近畿ブロック

滋賀

9日　中小企業団体中央会地域経済活性化事業補助金の交付申請書書類を提出。「フラットボックスを使った講習会」が対象事業。1月開催予定。
24日　第4回理事会開催。

京都

2日　第40回全国技能士大会。植松理事が出席。
5日　京都ものづくりフェア2022。植松理事が出席。
10日　理事会を開催。理事が参加。
11日　技能検定フォローアップ研修。植松理事が出席。
24日　60周年記念式典特別委員会。白石理事長、担当理事が出席。

大阪

1日　防炎業務・防火壁装施工管理者講習会。組合員49名が受講。
2日　OSK青年部会定例会開催。部会員16名が参加。
9日　防炎業務・防火壁装施工管理者講習会。組合員48名が受講。
12日　第10回OSKゴルフ大会。組合員・賛助会員30名が参加。
16日　防炎業務・防火壁装施工管理者講習会。組合員51名が受講。
18日　技能検定（化粧フィルム工事作業）反省会。検定委員、補佐員他、実施3団体14名が出席。
20日　夢の家「お仕事体験フェスティバル」。OSK青年部会有志8名が参加。近隣の子供達へクロス貼り体験会を実施。
22日　OSK青年部工場見学会。青年部会有志10名が村上敷物㈱にてウィルトンカーペットやアキスミンスターカーペット等の製造現場を見学。

兵庫

7日　青年部会開催。
11日　青年部主催「インボイス講習会」。組合員他43名が参加。㈱山上北野氏、永岡会計事務所安井氏「インボイス講習会」。福田法律事務所福田弁護士「内装業におけるクレーム処理について」。講習会後、懇親会を実施。中央会事業・組合支援事業について説明を受ける。
16日　理事会を開催。

奈良

6日　研修旅行開催（姫路方面）。組合員と家族26名が参加。
20日　奈良技能フェスティバル参加。ものづくり体験教室。奈良県室内装飾技能士会メンバーと一般客約100名が参加。内容・かごバックとペン立て。

和歌山

5日　紀の国わかやまものづくり教室2022。理事および ものづくりマイスター計11名が出席。
9日　情報・流通委員会新聞編集会議に浦口副理事長が出席。
23日　和歌山県中小企業青年中央会主催「第1回ゆにフェスお仕事体験・展示会出展。W.I.D.A.青年部他計9名出席。

中国ブロック

鳥取

16日「日装連中国ブロック会」に杉内理事長、清水副理事長、福田専務理事、長谷川青年委員長、大谷青年副委員長、長住青年副委員長、大下事務局員の7名が出席。

しまね

2日　しまね組合50周年記念事業実行委員会第一回部長・副部長会議。計10名が出席。
7日　島根県庁訪問（理事長、専務理事、顧問、事務局）。島根県総務部営繕課課長に入札に係る要望書提出。
16日　中国ブロック会議（理事長、副理事長2名、専務理事、青年部会長、事務局）計6名が出席。
24日　しまね組合50周年記念事業実行委員会第二回部長・副部長会議。計8名が出席。
28日　青年部役員会開催。

岡山

1日　組合員へ、後期賦課金の請求書を発送した。
同日　三役会を（書面）にて開催。協力会員1社の新規加入について、書面にて審査、加入が承認された。
16日　日装連「中国ブロック会議」が、3年ぶりに岡山市で開催された。岡山プラザホテルにて、三役4名と事務局2名の合計6名が出席。
22日　日装連ID会員の「日リ協コラボ企画研修会」を受講レポート方式にて会員6名に案内。

広島

7日　ひろしま技能フェア・ファイル作成講習。田浦理事が指導。賛助会員ほか計13名が参加。
10日　ひろしま技能フェア出展設営。田浦理事ほか5名が参加。
11日　ひろしま技能フェア。事業委員会、青年部会、賛助会員ほか計30名スタッフ対応。組合ブースへ140名が来場。
15日　日装連青年部次世代委員会（リモート）。青山理事が出席。
16日　中国ブロック会議。日装連小坂田理事長、竹内会長ほか5県単組計30名が出席。
22日　日装連ID特別委員会。竹内理事長が出席。
29日～30日　広島県中小企業団体事務局代表者（協）現地訪問研究会。事務局が参加。
〈青年部会〉
2日　県立総合技術高校体験授業。池田部会長ほか9名が出席。
24日　理事会を開催。池田部会長ほか8名が出席。

山口

16日　日装連中国ブロック会会議。横田理事長、林専務理事、事務局2名が出席。

四国ブロック

☆16日　日装連四国ブロック会、事務局長会議開催。

徳島

3日　徳島技能フェア2022。織原理事長他2名が出席。

香川

18日　建設業労働災害防止協会専門事業安全大会打合せ会に藤井理事長が出席。
22日高松東支部会。8名が出席。
24日　第351回理事会開催。藤井理事長他8名が出席。
29日　防炎業務臨時講習会。講師・本郷副理事長。1名が受講。

愛媛

16日　理事会を開催。須川理事長他12名が出席。
同日　広報委員会（IAえひめ№97第1回編集会議。明関青年部代表幹事他4名が出席。
30日　愛媛県中小企業団体中央会中予支部役員懇親会に須川理事長が出席。セミナー・テーマ「人つくり人を生かす会社経営」。講師・義農味噌株式会社代表取締役田中正志氏。
同日　愛媛県職業能力開発促進大会（職業訓練功労者等表彰）。【出席者】藤井副理事長／技能検定員＝技能検定委員功労協会長表彰、知事賞（プラ床1級）1名、職業能力開発協会長賞（壁装1級）1名、（プラ床1級）1名、技能士会長賞（プラ床1級）1名。

高知

1日　定例理事会開催。久保理事長他8名が出席。
11日　インボイスセミナー（中央会支援事業）開催。内容・「消費税インボイス制度について」。講師・税理士結城靖氏。32名が受講。
同日　50周年委員会を開催。田村委員長他5名が参加。
18日　高装協青年部会を開催。吉永青年部長他7名が出席。
21日　高装協青年部「高知工業高等学校総合デザイン科体験学習」を実施。内容・クロス施工説明及び校外実習。吉永青年部長他7名が出席。
同日　定例四役会を開催。久保理事長他3が出席。

九州ブロック

☆11日　日装連九州ブロック青年部連絡協議会・懇親会を開催。

福岡

1日　福岡県中小企業団体中央会へ月次情報連絡票（10月分）提出。
同日　中小企業団体中央会労働専門委員会。村上理事長代理で平田専務理事が出席。
7日　防炎業務、防火壁装施工管理者講習会。247名が受講（午前、午後の2回に分けて開催）。
8日　中小企業団体中央会へ四半期景況調査を提出（福装協会員5社分）。
12日　九州ブロック青年部連絡協議会参加メンバー懇親ゴルフコース&観光コースを開催。ゴルフは、4組14名参加、観光は自由観光を含めて13名参加。
15日　日装連青年部次世代委員会WG会（リモート開催）。福岡から吉本委員長が出席。
18日　福岡県職業能力開発促進大会。福装協から宮﨑理事が福岡県職業能力開発協会会長表彰を受賞。
22日　令和4年度全技連会長表彰&新規マイスター認定証伝達式。村上理事長の代理で平田専務理事が出席。
24日　福装協筑後支部役員会。筑後支部役員出席。
29日　福装協各支部合同忘年会、ゴルフ大会。ゴルフ大会・6組21名参加。忘年会・24名参加。

佐賀

8日　青年部・事務局打ち合わせ。
24日　理事長・事務局打ち合わせ。
25日　防火壁装・防炎業務講習会開催。33名受講。
同日　第5回理事会を開催。
30日　青年部で検定用化粧フィルム台の移動（組合→県職能関連倉庫）。

長崎

10日　第74回中小企業団体全国大会に小室理事長、坂口副理事長、末次副理事長、喜多専務理事、小室会長が出席。
同日　九州青年部の集い。小室会長が出席。
18日　第4回理事会及び懇親会を開催。理事7名が出席。
20日　第17回理事長杯ゴルフコンペを開催。17名が参加。

熊本

1日　三役会・理事会を開催。理事8名が出席。
4日　防火壁装講習会・防炎業務講習会（午前・午後開催）。
7～11日　熊本県技能士会連合会みらいの技能士育成ステップインターンシップ事業開新高校生徒受け入れ。於・㈱タナカ建装。
11日　熊本県技能士会連合会技能フェア出展団体会議。事務局が出席。
15日　熊本県立熊本工業高校インテリア科出前講座。中野理事長、鶴田理事、㈲ツルタ装飾社員、長尾講師、中川講師が出席。（写真別掲）
18日　熊本県能力開発協会促進大会・熊本県優秀技能者表彰授賞式。中野理事長が出席。㈱タナカ建装濵口孝之氏、優秀技能者表彰授賞。
19日　熊本県技能士会連合会技能フェア。中野理事長、田中副理事長、新原副理事長、鶴田理事、事務局が出席。（写真別掲）
22日　熊本県技能士会連合会建設専門工事業部会、熊本県との意見交換会・懇親会。鶴田理事、青年部濵口氏が出席。

大分

2日　第3回理事役員会開催。理事9名（監事1名、事務局員が出席。
10日　HP更新。
24日　理事長・事務局業務打合せ。

宮崎

4日　第37回宮装協ゴルフトーナメント決勝ラウンド開催の案内を組合員・賛助会員に送付。
7日　日装連インテリアデコレーター（内装士）資格者研修会の案内を送付。
8日　通帳残高及び帳簿残高の照合確認（10月分）。会計責任者・中村副理事長。
同日　青年部役員会開催。藤原青年部会長以下4名が出席。
10日　第74回中小企業団体全国大会。松本理事長、中村副理事長が出席。テーマ・「つながるひろがる連携の架け橋～希望の未来中小企業『光』を結集～」。
23日　県中央会主催「第5回みやtheキッズモール」。藤原青年部会長外6名が参加。内容・防火壁装材料を使用した小物作成。
28日　三役会開催。松本理事長外4名が出席。
同日　日装連インテリアデコレーター研修会。内装士21名、事務長が参加。内容・省エネを考えるインテリア、化粧フィルムの活用インテリア。講師・松本嗣夫氏（有限会社三和インテリア）
30日　宮崎県中小企業団体中央会担当者来訪。廣前専務理事・事務長出席。
同日　令和5年新年会案内を組合員・賛助会員・青年部・施工技術者部会員に送付。

鹿児島

1日　鹿児島市技能職種別団体連絡協議会総会。田中理事長が出席。
同日　鹿児島市技能功労者表彰式。出席者・表彰者1名、田中理事長他。優秀技能者受賞者・㈱九州内装枝迫智氏。
11日　技能まつり準備作業。参加者・インテリアコムラ㈱2名、昭和室内装備㈱1名。
12日　技能まつり。溝添技能委員長他技能者・理事が参加。技能体験教室を開き、約40名の方に、塩ビタックシートをつかって貯金箱装飾に挑戦させた。タイルカーペット販売。（写真別掲）

沖縄ブロック

沖縄

16～18日　中小企業団体中央会全国大会に事務局宮里氏が出席。
18日　九州ブロック青年部協議会が沖縄県で開催され、当組合から青年部2名、仲島進功理事長が出席。出席者・33名。

熊本組合 15日出前講座（写真上） 19日熊本県技能士会技能フェア（写真中） 鹿児島組合12日技能まつり（写真下）

最前線探訪 75

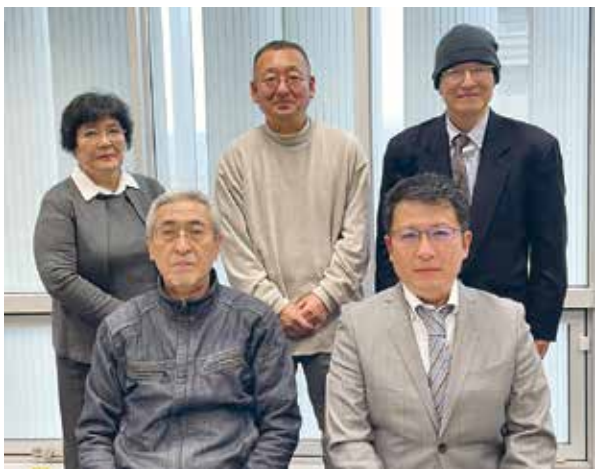
新理事長編

岩手組合

今号の最前線探訪・新理事長編にご登場いただく組合は、今年度より堀口顕吾氏（㈱オフィス・ケーワイ）が理事長に就任した岩手組合である。

約6年前（2016年9月号）に当コーナーで岩手組合を取材した際は、青年部の一員として活動されていた堀口理事長。昭和51年11月生まれの46歳という、全国最年少理事長としても注目を集めている。

その堀口理事長をはじめ、徳田勝秋副理事長（有アスワンコーポレーション）、吉田義則副理事長（有ヨシダ室内装飾）、大高祐喜理事（有パール装飾）、そして事務局の久保田洋子さんにお集まりいただき、若きリーダーが率いる新体制のもと、現場目線の改革を進める岩手組合の現状を伺った。



前列右が堀口理事長、左が徳田副理事長

防火壁装ラベルへの社名印字を開始
ラベルの付加価値向上目指す

「組合の理事長職は、会社では一線を引いた会長が務めるケースが多いと聞いています。私は現役ですから時間的にはかなり大変なのですが、その分現在の内装業界の問題点を肌で感じられるのがメリットだと思っています。理事長としてその問題点を改善していきたいと考えています」と語るのは堀口理事長だ。

その第一歩として、堀口理事長が取り組んでいるのが防火壁装ラベルへの現場名印字である。来年1月からスタートすべく、現在準備を進めている。

岩手組合では、すでに20年以上前から、防火壁装ラベルに壁装施工管理者の登録番号に加えて社名を印字してきた。ラベル流用を防ぐためだが、こうした対策を講じても、岩手県内では他団体を通じてラベルを入手することも可能で、別ルートで入手した事業者によるラベル流用が散見されるという。

「現場では疑わしい事例をよく見かけます。そのような内装業者が適正に防火仕上げを行っているのかとても疑問ですし、万一不正があった場合、防火壁装ラベル自体の信頼も失われてしまいます。そうなれば内装業界全体の損失です。そこで防火壁装ラベルの厳格な運用を行うため現場名印字を導入しました」

それとともに堀口理事長は、消防検査でラベルをチェックする消防署や自治体にも今回の岩手組合の取り組みを訴え、現場で社名と現場名の記載を確認してもらえるように働きかけるという。

「そうすることで、岩手組合が発行する防火壁装ラベルは適正に運用されている、ということがご理解いただけると考えています。それが岩手組合発行のラベルの価値向上、そして岩手組合自体の価値向上につながるのではないでしょうか。ラベル発行事業というのは組合の根幹です。全国の組合とも連携して、日装連全体でラベルの付加価値を高めていきたいですね」

インボイス講習会

技能検定講習会

帝人不燃シート製防煙垂れ壁『かるかべ』商品説明会

技能検定の価値を訴求し
職人の技術向上を図る

このラベル改革とともに堀口理事長が取り組んでいるのが人材確保・育成である。

「人材育成には、職人としての技術向上と若手経営者の育成という両面があると思っています。組合としては両方とも取り組んでいく必要があります」

職人の技術向上については、まずは技能検定の取得を支援するとともに、1・2級技能士であることのメリットを組合として生み出していくという。

「技能検定の問題点は、たとえ1級技能士であっても工賃に差がないことです。これは元請け側に技能検定の意義が伝わっていないことが原因だと思っています。今後は組合として、ゼネコンやハウスメーカーに技能検定の意義を訴求し、価値を認めてもらえるような活動を行います」

技能検定の価値が高まれば、技能を磨く動機付けになり、自ずと技術も向上するというわけだ。

一方の若手経営者に向けての施策は、やはり情報提供である。

コロナ禍も落ち着いてきたこともあり、堀口理事長就任後は、「インボイス制度講習会」（8月25日・参加者59名）、「石綿取扱作業従事者特別教育講習会」（9月21日・参加者41名）、「帝人不燃シート製防煙垂れ壁『かるかべ』商品説明会（11月18日・参加者18名）」など、さまざまな切り口で講習会を積極的に実施した。

「この他、若手人材確保に向けては、全国の組合で実施している高校への出前授業も計画しています。先行する他県の視察も予定しています」

ベテランと若手が融合し
時代の変化に対応

このように矢継ぎ早に新たな方向性を目指して突き進む堀口理事長であるが、それも組合を長く支えたベテラン理事の理解と支援があってこそだろう。

今回、堀口理事長の就任をもっとも強く推したのが、細野前理事長とともに長年岩手組合を牽引してきた徳田副理事長であった。

「いつまでも年配者がやっていても前に進みません。目の前に坂道があるとするなら、年寄りは下りますが若い人は登りたいものです。若い人のやりたいことをサポートする、それが年配者の役割だと思います」と語る徳田副理事長。

事務局の久保田さんによれば、堀口理事長になってから連絡方法がLINE主体に変わり、意思疎通、情報共有がスピーディーになり、意思決定も飛躍的に早くなったという。そうした意思決定のスピード化が次々に新しい施策を実行するベースになっているというわけだ。

「若い人にとっては当たり前のことかもしれませんが、年配者の我々からすれば思いもよらないことです。これが時代の変化ということでしょう。それに対応するためには、やはり若い人が理事長になるべきです」

最後に堀口理事長。

「ベテランの方から若い組合員まで、年齢を問わず組合員皆さんの賛同を得られるような施策をやっていきたいと思っています。私一人では何もできませんから、力を合わせて、これからの時代に合った組合運営をしていきたいと思っています」とのことであった。